

# 令和5年度小平市立花小金井小学校 研究構想図

R5.4.26 研究推進部

かしこく つよく やさしい子

## 社会的要請

- ・ AI技術の進化や価値観の多様化などにより、多様な考えをもつ他者と連携、協働しながら目的に応じた納得解や最適解を生み出す力が求められている。
- ・ ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められている。

(R3.3 文部科学省より)

## 児童の実態

- ・ 学習者用端末への入力や、学習者用端末を用いて知りたいことを検索することができると感じている児童が多くいる。
- ・ 学習者用端末を用いて自分の考えを伝えることや、相手の考えを知り、理解することについての経験が不足している。

## 研究主題

### 自分の考えを表現できる子の育成

～学習者用端末を用いた指導の工夫を通して～

## 目指す児童像

主体的に自分の考えを表現し、伝え合う子

### 低学年

自分の考えをもち、自分の考えを伝えられる子

### 中学年

自分の考えをもち、自分と友達の意見を比べることができる子

### 高学年

自分の考えと友達の考えを比べ、共通点や相違点を見出すことにより、自分の考えを深めることができる子

## 研究仮説

子どもたちが共に学び伝え合う場面を意図的に取り入れていくために、学習者用端末を効果的に活用することによって、児童の確かな学力向上になり、「自分の考えを表現できる子」の育成につながるであろう。

## 研究内容

### 1 授業研究

- ・ 研究授業、研究協議の内容を踏まえて、指導の共通理解を図る。

### 2 系統表を活用した常時活動

- ・ 発達段階に応じた指導事項を確認し、日々の授業で実践し、改善していく。